

(別紙：様式案)

シンポジウム等の概要について(事後報告)

- 1 名称:公開シンポジウム「防災教育と災害伝承」
- 2 日本学術会議の主催者:防災減災学術連携委員会
- 3 その他の主催団体等:
 - ・主催:防災学術連携体
- 4 開催日時:令和3年11月6日(土)14時30分～16時00分
- 5 開催場所:オンライン開催 (Zoom ウェビナーによる)

6 開催趣旨:

2011年東北地方太平洋沖地震により引き起こされた未曾有の大災害:東日本大震災発災から十年が経過した。発災の直後の被災対応から始まり、多くの課題を抱えつつ、復旧、復興に向けた様々な活動が進められてきている。津波による被害、地震の揺れによる被害、原子力事故などに起因する様々な災害が生じ、被災地や周辺地域での社会生活に大きな困難を及ぼしている。今後引き続き復興に向けた取組みを継続していくのと同時に、この多くの犠牲を受けた災害から得た貴重な教訓を、東北と日本の今後の安全な社会実現のために活かしていく必要がある。一方、防災・減災に関わる学術分野においても、広域に生じた実に多様な被害実態とその分析から得られた新しい知見を、社会に展開していく責任がある。

災害軽減のためには、ハードからソフトの日頃の備えが重要であり、防災の実効性を高めるためには、過去の教訓を踏まえた上で、まず災害発生の本質をお年寄りから子供までが理解し、被災時の対応法も含めた日頃の備えをしておくことが極めて重要である。そのためには、学校や社会における正しい防災教育と、その基となる災害そのもの、災害から得られた教訓を記録に残し、後世にきちんと伝えていくことが必要である。

本シンポジウムでは、東日本大震災後の10年間の経験と教訓を踏まえ、今後の防災教育と災害伝承のあり方、および進めるべき取組みについて、学術分野から発信する。

- 7 参加人数:
 - 講演者・関係者:16名
 - Zoom ウェビナー 総参加者:559名
 - (報道関係者12名を含む)

8 特記事項:

本シンポジウムは、防災推進国民大会2021(主催:内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)の中の一セッションとして開催した。

当日の講演に用いられた資料（スライド）は防災学術連携体のホームページに掲載して自由に閲覧できる形で残されている。また当日の開催状況の動画も防災学術連携体のホームページに掲載され、閲覧できるようになっている。また、防災推進国民大会 2021 のホームページにも上記動画のサイトが掲載されている。